

久米島の生活体験

那覇・城南小
5年生89人 自然、伝統織物学ぶ

【久米島】那覇市立城南小学校5年生89人が9月30日から2日までの3日間、2013年度沖縄離島体験交流促進事業プログラムの一環で久米島を訪れ、町内の小学生や町民とさまざまな交流を通して親睦を深めた。

30日に久米島空港ロビーで入町式が行われ、同日夜にはクラスごとに分かれ交流会に参加した。1日には、児童らはグループに分かれて、イノ観察やニブチの森(だるま山)体験などの自然プログラム、久米島の伝

統織物の久米島体験や紅イモ掘りなどの産業プログラムをそれぞれ体験した。

久米島ユイマール館で行われた体験では、児童らは久米島紬事業協同組合の織り子さんの指導を受け、慣れない手つきながらも一生懸命に繭を伸ばして真綿作りの体験をした。

上原すみ加さんは「初めてで繭を伸ばすのが難しかったけど、またやりたい」、松本美空さんは「経糸を巻き取る作業が難しかったけど、とても楽しかった」とそれぞれ笑顔で感想を話した。

(中島徹也通信員)



久米島紬の真綿作りを体験する児童ら。1日、久米島紬ユイマール館